

■欧州：EU 首脳会議でエネルギー分野を中心とした投資計画が合意を迎える

2009年3月19日に開催されたEU首脳会議において、EU大での景気回復策の一環として、2009年から2010年にかけて、エネルギー分野を中心に、50億ユーロ（約6,500億円）を投資することが合意された。2009年1月に発生したロシアから欧州向けのガス供給停止問題を受け、ロシアやウクライナを迂回するガスパイプラインであるナブッコ・ガスパイプライン計画（カスピ海沿岸のガスを欧州に輸送）を含めたガスのインフラ整備の他、電力ネットワーク網の強化、洋上風力発電分野、CCS（CO₂回収・貯留技術）などエネルギー関連分野に、全体の約8割に相当する約39億8,000万ユーロ（約5,200億円）が充てられているのが特徴となっている。なお、エネルギー分野以外の約10億ユーロ（約1,300億円）の投資先としては、ブロードバンド・インフラ整備や農業分野が挙げられている。